

## Press

2009年5月8日(金)

### インテリア ライフスタイル

東京ビッグサイト(東京国際展示場)西ホール

2009年6月3日(水) - 5日(金)

メサゴ・メッセフランクフルト株式会社  
プレス・PR担当: 新居延(ニイノブ)  
Tel.: 03-3262-8453  
Fax: 03-3262-8442  
[niinobu@mesago-messefrankfurt.com](mailto:niinobu@mesago-messefrankfurt.com)  
IL09\_3jp

**国内外の最新製品や著名デザイナーによるライフスタイル提案が見られるインテリア ライフスタイル!**

**『Design Perspective』、『Style Japan』など、最新トレンドを発信する特別企画が充実**

クオリティーの高い出展製品、ユニークな展示スタイル、トレンドを先取りした特別企画が人気の国際消費財専門見本市『インテリア ライフスタイル』が、6月3日(水)から5日(金)の3日間、東京ビッグサイト西ホールにて開催される。「インテリア」を切り口に雑貨やテキスタイルなどの多彩な商材をトータルで展示するライフスタイル提案型国際見本市として、年々存在感を増している見本市だ。昨年は、36カ国・地域から27,390人(国内26,711人、海外679人)の来場者、および31カ国・地域から652社(国内419社、海外233社)の出展者を記録し、過去最大規模での開催となった。今年も昨年と同規模の、31カ国・地域から590社(国内:431社、海外:159社)が出展する予定(5月8日現在)。ことに、国内出展者数はこの不況下にあっても昨年を上回っており、ビジネスができる商業見本市としての同見本市の役割に多くの期待が寄せられている。開幕まであと1ヶ月。おなじみのトレンド・セッターのブランドから、初出展の出展者まで、多数の出展者が最新製品を発表するインテリアライフスタイルに、業界関係者の注目が集まっている。

**最新トレンドを発信する特別企画が充実**

トレンドを先取りした数々の斬新な特別企画はインテリア ライフスタイル最大の見どころ。今年も見ごたえたっぷりの特別企画や特別展示エリアが数多く用意されている。来場するバイヤーをインスパイアする感度の高いテーマ設定、出展製品の質の高さには定評があるインテリアライフスタイル。毎年テーマを変えて開催されるアトリウムの特別企画「design perspective」、更に人気の Trend Cafe も併設し例年以上に充実した展

## インテリア ライフスタイル

示が目をひく「Style Japan」など、今年も鮮やかな切り口のテーマのもとに、次シーズンのトレンドとなる新しい商材が多数展示される。

### ● Design Perspective

直訳すると「デザインの展望」あるいは「デザインの見通し」という意味のテーマで開催される今年のアトリウム展示企画は、現在のみならず未来のライフスタイルを感じさせるようなデザインにフォーカスする。世界のデザイン関係者が注目する名だたるブランドからリリースされたデザイン性の高いアイテムが、名作から新製品まで幅広く揃い、見ていただけでデザインの持つパワーを感じられるエリアだ。

以下が、出展企業(予定)。

- ・ アッシュコンセプト
- ・ アイオーティカーボン
- ・ イスルギ
- ・ 岩谷マテリアル
- ・ セラミック・ジャパン
- ・ テラモト
- ・ マルアイ
- ・ ルボア
- ・ アントレックス
- ・ インザルーム
- ・ センプレデザイン
- ・ マインドアート

### ● Style Japan

「Style Japan」は、インテリア ライフスタイルの中でも最も出展企業がステータスを感じる展示エリアのひとつ。日本のライフスタイルに新しいアイデアを提案するこのプレミアムな空間に、今年も国内外のリーディングブランドが集結。来場者にインスピレーションを与える洗練された衣食住の空間演出を行うのは、以下の出展者(予定)。

- ・ アスブルンド
- ・ ALEXANDRE TURPAULT
- ・ エッセンス
- ・ カール・ハンセン&サン ジャパン
- ・ クレイ
- ・ 高田製作所／タカタレムノス
- ・ チクノライフ

## インテリア ライフスタイル

- ・ ツヴィーゼルジャパン
- ・ 日恵装飾
- ・ マジスジャパン
- ・ Rockstone

今年はこのエリアに、カフェレストランが登場。「Style Japan Restaurant」は、インテリアからフードまで Style Japan が提案するライフスタイルを体感できるラウンジスペースとなっている。会期 3 日間のみ営業のこのレストランのシェフを務めるのは、前デンマーク大使館エグゼクティブ・シェフのティラック・バスナヤカ(Thilak Basnayaka)氏。アジアとヨーロッパのテイストの詰まったキュイジーヌ(料理)は、インテリアライフスタイルでしか味わえないオリジナルメニュー。世界のエグゼクティブを魅了した同シェフが腕をふるう Style Japan Restaurant は、来場者に大人気間違いなしだ。

### ● neON

2006 年のスタート以来、若手デザイナーと企業のコラボレーションの機会を提供してきた『neON』は、若手デザイナーにフォーカスしたデザイナーズ・エリア。このエリアでは独創的なデザイン提案を行う若手デザイナーが出展し、デザインをアウトソースしたい企業やメーカーの製品企画担当者をインスパイアする。新進気鋭のデザイナーによるデザイン提案が人気を博しているデザイナーズ・エリア『neON』では、今年も 10 名／組の若手デザイナーがフィーチャーされる。

- ・ 合板研究所 [DRILL DESIGN + FULLSWING] (日本)
- ・ ソリッド (日本)
- ・ ホラグチ カヨ (日本)
- ・ 南 政宏 (日本)
- ・ ライスデザイン (日本)
- ・ トジキデザイン／戸舗 誠／(日本)
- ・ Talent Thai Nov.05／Studio Ek／Zimple (タイ)
- ・ Cecile Chareyron (フランス)
- ・ Manufacture Des Rigoles (フランス)
- ・ Pierres En L'air – TRACES DU PATRIMONE (フランス)
- ・ SMARIN (フランス)

## インテリア ライフスタイル

### ● interior lifestyle awards

業界を代表する5人／団体の審査員が、全出展者の中からそれぞれの視点でオンリーワンをセレクトし、賞を贈る「interior lifestyle awards」。出展製品のデザイン性やコンセプト、そしてブースデザインを含むプレゼンテーションなど、評価ポイントも評価基準も全て各賞の審査員の裁量で選定されるため、出展規模もキャリアも様々な出展者が選ばれる。ハイセンスな出展製品や趣向を凝らしたブースが多いインテリア ライフスタイルでは、例年、審議を重ねてやっと受賞者が選定される。翌年2月にフランクフルト(ドイツ)で開催される世界最大の見本市での出展権がかかったneON出展者対象の賞「Interior Lifestyle Young Designer Award」など、受賞によって飛躍する出展者も多い。

今年も、以下の4つの賞をはじめとする5つの賞が与えられる。

- ・ JID Design Award  
(授与団体: 社団法人日本インテリアデザイナー協会)
- ・ JDCA Design Management Award  
(授与団体: 日本デザインコンサルタント協会)
- ・ NIKKEI DESIGN Award  
(授与団体: 株式会社日経BP社)
- ・ All About Style Store Award  
(授与団体: 株式会社オールアバウト)
- ・ Interior Lifestyle Young Designer Award  
(授与団体: Interior Lifestyle 事務局)

また他にも、来場者が会場内を見て回りやすいようにとの配慮から、出展製品のテイストやカテゴリー、そして出展者の国籍によって、『COOL』、『INDUSTERIOR』、『indoor green』、『NORDIC LIFESTYLE』、『Euro Style』の5つの特別出展エリアがゾーニングされている。

- ・ COOL  
空間をスタイリッシュにコーディネートするプロダクト、デザイン性・話題性に富んだアイテムが集うエリア
- ・ INDUSTERIOR  
デザイン家電やキッチンツールなど、「機能」と「インテリア性」を兼ね備えた家電・キッチンツールにフォーカスしたエリア
- ・ indoor green  
インドアグリーン、花器、アウトドアファニチャーなど、存在感あるプロダクトが勢ぞろい

## インテリア ライフスタイル

- ・ NORDIC LIFESTYLE  
昨年アトリウム開催時に大人気だったこのエリアが今年も登場。人気の北欧最新アイテムを一度にチェックできるのはインテリア ライフスタイルならではの
- ・ EURO STYLE  
ヨーロッパのモードなライフスタイルを発信するプロダクトが集結したエリア

その他、本見本市に関する最新の情報は、公式ホームページ上にて確認できる。インテリア ライフスタイル事務局では、業界関係者に各種イベントスケジュールなどを掲載した無料招待状を配布している。無料招待状の請求は、電話、ファックス、またはホームページ([www.interior-lifestyle.com](http://www.interior-lifestyle.com))から。また、ホームページから「来場事前登録」を行うことで、来場者には事前に「来場者バッジ」が送られ、当日会場受付での登録が不要になるサービスが引き続き提供される。これによりウェブからの来場事前登録を行えば、よりスムーズに入場することが可能になる。問い合わせは、メサゴ・メッセフランクフルト(株) ☎03-3262-8456 まで。

— 終わり —

全 3,748 文字 (スペース含む)

## 主催者について

### メサゴ・メッセフランクフルト株式会社

世界第 2 位の産業見本市オーガナイザーであるメッセ・フランクフルトグループの日本法人(代表取締役社長 広瀬 明洋)。見本市(メッセ)大国ドイツの見本市オーガナイザーの中でも、最も長い伝統を持ち、早くからグローバル展開を図ってきたメッセ・フランクフルトグループは、世界各国で年間 100 本以上の見本市を開催している。同社の世界 100 カ国以上をカバーする海外ネットワークを活かして、1987 年の日本法人設立以来、日本国内で業界のキーイベントとなるような国際専門見本市を主催・運営している。

詳細な情報は [www.mesago-messefrankfurt.com](http://www.mesago-messefrankfurt.com) をご覧ください。

### メッセ・フランクフルト GmbH

年間売上高 4 億 2,300 万ユーロ、世界中に 1,400 人以上の従業員を擁するメッセ・フランクフルト GmbH は、ドイツ最大の見本市会社。メッセ・フランクフルト・グループは、世界中に 14 の子会社、5 つの支社、48 の海外セールス・パートナーを持ち、世界 150 ヶ国以上で事業を展開している。「Made by Messe Frankfurt」の見本市は、世界中 30 カ所以上の会場で開催されている。2007 年にメッセ・フランクフルト・グループが開催した 113 の見本市のうち、69 がドイツ国外で開催されている。

578,000 m<sup>2</sup> の敷地面積を誇る見本市会場には、現在 9 つの展示ホールとコンgres・センターが設置されている。同社株の 60%はフランクフルト市、40%はヘッセン州が保有。

詳細な情報は [www.messefrankfurt.com](http://www.messefrankfurt.com) をご覧ください。